



1月～3月も様々なイベントが開催されました。1月19日開催「森の音楽会」ではバイオリニストの小畑亮吾さんをお招きし、オリジナル曲を含むプログラムを演奏していただきました。体験会ではお子様が真剣にバイオリンに挑戦する姿が印象的でした。2月11日開催の「家族の絆防災」では非常食作りや水消火器訓練を行いました。避難所で使う段ボールベッドの組立て体験も皆無事に成功しました。2月22日開催「アートジャーニー」では招き猫張り子の絵付けを行いました。色とりどりの招き猫が並ぶと圧巻＆可愛いです。(齊藤)

今月の選書

by こども図書館

「シロツメクサはともだち」

シロツメクサはともだち



「シロツメクサはともだち」ブロンズ新社
鈴木純 / 著

みなさんはシロツメクサという植物を知っていますか？公園やお庭などでたくさん摘んで帰ったり、花かんむりを作って遊んだりしたという方も多いと思います。この絵本では色々な角度から撮られた写真とともに、花の咲き方や種のでき方などの、シロツメクサのひみつを知ることができます。表紙のように「おい」と、こちらにむかって話しかけてくるような言葉で書かれているので、まるでシロツメクサとお友達になったみたい。読んだあとは、お出かけして出会ったシロツメクサと仲良くなってみるのも面白いかもしれません。(こども図書館・高藤)

編集後記

新年度を迎えるこの季節、皆さんはどうお過ごしですか？期待に胸を膨らませている人もいれば新しい環境に不安を感じる人もいるのではないのでしょうか？自分が気づいていなくても体は「変化」をストレスと感じます。疲れやすい、眠れないといった些細な体の変化に気づいてあげる事が大切です。ストレスを緩和する方法はたくさんありますが、自分に合ったストレス解消法を見つけることが大切です。お風呂にゆっくりつかる事でホッとすることもあれば、お風呂すら面倒でストレスを感じる人もいます。ヨガをする、SNSを閉じる、泣ける映画で号泣する...あなたの心が穏やかになる方法を見つけておくことが大切です。皆さんの新生活が幸せ溢れるものになりますように。(編集・齊藤)



[編集・発行] 流山市おおたかの森センター 〒270-0128 千葉県流山市おおたかの森西 2-13-1 TEL.04-7159-7031 FAX.04-7159-7062 Nagareyama City Otakanomori Center 2-13-1 Otakanomori Nishi, Nagareyama City, Chiba 270-0128, Japan

[発行日] 2025年3月15日

[印刷] 流山市おおたかの森センター [責任者] 野口恵一

Instagram @otakanomori_center X @OtakanomoriCity

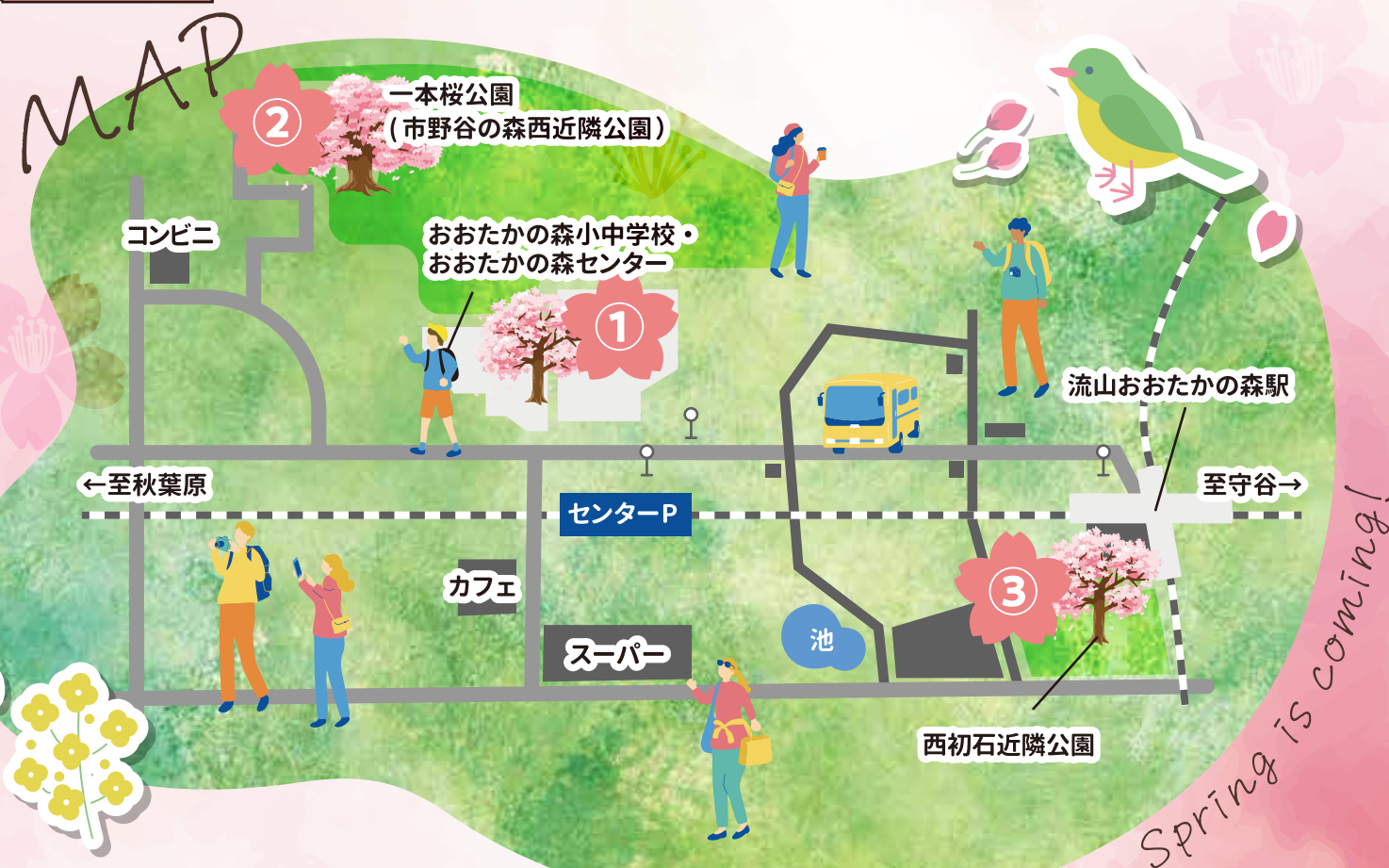


記録的な大雪が降った冬も終わり、一気に春を感じる季節となりました。新しい季節・環境を迎えるに当たり、おおたかの森センターで開催しているさまざまなイベントに参加してみたいかがでしょうか？親子で一緒に学び・楽しめる企画として、宇宙について学ぶ「親子星空探検隊」、たくさん体を動かして親子のふれあいを楽しむ「わくわく親子体操」。子育て中のママや体を動かしてリフレッシュしたい大人の方向けの「リフレッシュサロン」。植物に触れながら春を感じる新しい企画として「ユア・ガーデン」が開催されます。また、特別企画として、渡り鳥の実態を学ぶ「渡り鳥たちのフシギ」が4月13日、当館で開催されます。イベントのご予約や問い合わせはおおたかの森センター(☎04-7159-7031)にお電話または窓口まで。詳細は広報ながれやま・センターHP等をご確認ください。(谷澤)



リフレッシュサロン(ピラティス)の様子

もうすぐお花見シーズンです。センターにお越しの際に足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。(島中)



①

おおたかの森小中学校・
おおたかの森センター
風のみち

センターに隣接しているおおたかの森小中学校の校門前(風のみち)に桜が植栽されており、毎年入学式・卒業式を華やかに彩っています。



②

市野谷の森西近隣公園
(一本桜公園)

おおたかの森に隣接した市野谷の森西近隣公園には、名前どおりの見事な一本桜があります。遊具もあるので、春の陽気の中ゆっくりと家族でお花見ができます。



③

西初石近隣公園

流山おおたかの森駅の南口広場を通り抜けたところにあるのが西初石近隣公園。ショッピングセンターにお出かけの際に気軽に立ち寄れる、立地の良い駅近公園です。



流山市生涯学習センター(流山エルズ)



流山市総合運動公園の脇にチョコレート色の4階建ての建物が目に入る。ここが流山市生涯学習センター、通称流山エルズである。つくばエクスプレスの開通で流山セントラルパーク駅から徒歩3分ととてもアクセスが良い。前身は県の流山青年の家であったが、平成18年4月から現在の施設としてスタートした。「エルズ」という名称は「Nagareyama City Lifelong Learning Center」の3つの「L」から名付けられた。建物内は市の教育支援センター、教育研究企画室、市民活動推進センターなど様々な機関が入り、体育館、ギャラリー、厨房、スタジオ研修室、音楽室、舞台付きの多目的ホールなど子どもからシニアの方まで様々な学びを体験できる、まさに生涯学習の殿堂と言える。部屋の貸し出し業務だけでなく様々なイベントを開催していることも魅力である。2月には、障がいのある方の文化活動推進を目的にして日ごろの活動を披露する場として「流山エルズ チャレンジド・ステージ」を開催した。障がいのある方の表現の場が少ない中、取り組まれていることはとても素晴らしい。15団体が参加し活気あるイベントとなったようだ。これからも市の生涯学習の殿堂であり続けるだろうと実感した。皆さんも一度訪問されてはどうだろう。一服するカフェもある。(野口)

見来
な得!わたしと家族の「そうぞく講座」
～シニア向け講座～

「相続」が「争族」にならないための準備や、よりよい未来のための「そうぞく」「ライフ&エンディング」について考える全3回の講座を開催しました。第1回は「相続」と「争族」のはなし。第2回は最適な「MY ライフ&エンディング」を考えよう。第3回は笑顔を運ぶ「遺言」のお話を題材に講座を行いました。講師に、明治安田生命保険相互会社から古澤弓枝さんをお招きし、スライドを用いて丁寧に解説していただきました。10年ほど前の税制改正に伴い相続税の基礎控除額が引き下げられたこともあり、今や「そうぞく」は身近な問題になっています。参加された方からは、「とても為になった」と好評なご意見をいただき、参加者の皆さんの「そうぞく」や「エンディングプラン」について考えるきっかけになるものだったと確信しています。また、講座終了後は健康測定会も開催され、ご自身の健康について考えるよい機会となりました。当センターでは、今後もシニア層の方々向けの講座の開講を予定しています。



次回開催日などのイベント詳細はセンターHP・広報ながれやまをご覧ください。(島中)

館長一筆箋



3月は卒業シーズンである。昨日、柏の町を通ったら中学のブレザー姿の卒業生を見かけた。ふと自分の学生時代を思い出した。私は山梨の田舎の小中学校を卒業したが、同じ敷地に小学校と中学校が同居していた。校庭も体育館、プールも共有である。休み時間となると小学生の中に中学生も交じって遊んでいることにも何ら抵抗がなかった。小学校の卒業式は全員中学校の制服を着ることが通例でこちらも何の疑問も感じなかった。進学も隣の校舎に移るだけなのだが、部活や教科担任制といった初めての体験をするにあたってはかなり緊張した記憶がある。大学の時に母校の小中学校で教育実習をしたことも懐かしい。今は、中学校は移転したのち廃校となり、小学校も私が在席していたころの400人から60人ほどに激減している。昭和から平成令和と時代が移ったが、卒業の寂しさ、進学への不安と期待はいつの時代も変わらないだろう。(野口)

今月の書



菜の花も2月には開花し今を盛りに咲いています。青い空に黄色の菜の花はとてもはえます。少しずつ春に近づいていることを実感し、心もなぜか弾んできます。(野口)